

おおたの教育

第106号

大田区教育委員会広報

平成23年(2011年)
1月1日発行

今号の主な内容

- 第1面 子どもの自立心・社会性をはぐくむために
- 第2面 学校支援地域本部について
- 第3面 大田区の遺跡
- 第4面 中学校生徒職場体験

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL. 03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

子どもの社会参加は家庭からはじまります

子どもの自立心・社会性をはぐくむために

子どもの成長段階に応じて、折にふれて家庭で行うしつけや教えは、子どもの自立心や社会性をはぐくむ上で重要な役割を担っています。家庭を中心として、学校・地域が連携して子どもの健やかな成長を支えていくことが必要です。



『集団の中で育まれる子どもの社会性』

大田区立小学校PTA連絡協議会 会長 皆方恵美子
大田区立中学校PTA連絡協議会 会長 渡司 幸

親の役割は「子どもを自立した一人の人間として社会に送り出すこと」と「生涯をかけて子どもの自己実現を見守ること」です。

子どもは成長するにつれ親と離れて行動をするようになり、子どもたちだけの社会やルールをつくりまわります。自立心や社会性等を育むには必要な経験ですが、大人が見守り、子どもの能力を超えている、心や体が危険にさらされていると判断した時には手を差し伸べ引き寄せることが必要です。また、学校のルールは様々な価値観をもった子どもと一緒に生活するための決まりであり、子どもを危険から守るための約束です。それぞれの家庭にはそれぞれの家庭のルールがありますが、子どもたちが混乱せずに自己判断していくためには学校のルールを優先していくことも大切です。

私たち親が我が子の成長を見守り、サポートする上で大切なのは、子どもを取り巻く環境や人間関係等にも配慮し「我が子+α」で考えることだと思います。

子どもの自立心を育てる

◎「やってみよう」という気持ちを大切に
子どもは成長とともにいろいろなことができるようになります。親も子どもの成長段階に応じて「してあげる(ヘルプ)」から「できるよう(サポート)」に接し方を切り替えることが必要です。

◎「できる」という気持ちを体感させる
子どもは認められることにより成長します。できた時にはほめることが大切です。また、「人の役に立つ」という喜びは、自己肯定感を高めます。お手伝いなどで子どもに役割と責任を与えることも大切です。

子どもの社会性を育てる

◎「自分で考え自分で行動する力」を育てる
子どもは成長に伴い「自分で考え行動する」ことを求められる場面が増えます。子どもの自己判断(解決)力を向上させるためには、判断基準の1つとなる規範意識をしっかりと身につけさせることが重要です。

◎学校・家庭・地域が連携して子どもを見守る
社会性は様々な体験活動や人とのかかわりあいの中で他者への思いやりやルールを学ぶことによりはぐくまれます。

子どもがより多くの体験や人とのかかわりを通して社会性を身につけられるように、子どもが地域の中で学べる環境を整え、学校・家庭・地域が連携して見守り、サポートすることが必要です。



☆「おはよう」「ありがとう」「はい」
あいさつや返事は良好な人間関係を築き、みんなで心地よく生活するための基本です。そして、誰に習うでもなく日々の生活の中でいつのまにか身につくようにしたいものです。

『子どもの自己解決力を引き出す』

子育てコーチングサークル ぴかぴか会長 大山理恵子

誰かに話をすることで問題が整理されたり、自分の思いや行動を振り返ることができたことはありませんか。話を聞いてもらったことで、自分の存在を確認したり、ホッとしたことはありませんか。

子育てコーチングは子どもの言葉(心)に耳を傾け、子どもの笑顔と自己解決力を引き出すコミュニケーション方法です。まずは子どもの話を3分間、あいづちを打ちながら黙って聞いてみましょう。そして答えを出してあげるのではなく、子ども自身で答えを出せるようにサポートしましょう。子どもを信じて見守るのも大切なサポートの一つです。



子育てを支援するために

子どもを育てるのは社会全体の責任です。子育てに悩んだり、不安を感じたりしたときは一人で悩まずご相談ください。

《相談窓口の一覧》

- 教育センター 教育相談・子ども電話相談
・学校生活上の悩みなど【☎ 5748-1201】
・小学生や中学生本人からの相談【☎ 5748-1203】
- 幼児教育センター 幼児教育相談
幼児の子育てやしつけなど【☎ 5748-1201】
- スクールカウンセラー 各学校へご確認ください
学習や友達関係の悩み、不登校などの相談
- 子ども家庭支援センター【☎ 5753-7830】
18歳未満のお子さんとその家族に関するあらゆる相談

この他に学校や家庭での悩みごと、いじめの相談、子どもの精神医学上の問題など。子育て応援サイト「おおた子育てナビ」に相談窓口一覧があります。
<http://www.kosodate.city.ota.tokyo.jp/>



『みんなで子育て』

子ども幸せ研究所 副会長 石井 晋也

子どもの幸せや安心して育つ・育てられる環境について自由に意見交換できる「子育ておしゃべりカフェ@おおた」を2か月に1回開催しています。今年度のテーマは「子どもの居場所・遊び場」です。

特に最近は子育ての不安や悩みを一人で抱える親が増えていると感じています。子どもや子育てについて、いろいろな話を聞いたり、一緒に考えたりすることで解決の糸口が見えることもあります。もっと社会全体で子どものこと、子育てのことを考えられるようになったらと私たちは願っています。

『3つの力』

学校では子どもたちの規範意識を高めるために、「相手を思いやる力・正しく判断する力・正しく行動する力」の3つの力をバランスよく育成することを目指し、発達段階に応じた重点指導項目を明確にして指導ができるように取り組んでいます。

各発達段階での重点指導項目

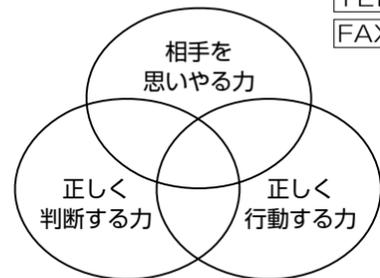
- 幼児教育期 自分でできることは自分です。
- 小学校低学年 善悪の判断ができ、正しく行動できる。
- 小学校中学年 きまりを守って行動する。
- 小学校高学年 自分の役割を自覚し、責任を果たす。
- 中学校 自己指導力を身に付ける。

※自己指導力とは、その場、その場で何が正しいかを判断し、自ら責任をもって行動できる力のこと

問合先 指導課指導主事

TEL 5744-1435

FAX 5744-1665



家庭・地域力向上支援事業

社会教育課ではPTAや区内で活動する団体が子育てや家庭教育に関する学習会や講演会等を開催する場合には、講師料などの支援を行っています。詳しくは、担当までお問合せください。

社会教育課事業担当

TEL 5744-1447 FAX 5744-1539

「おおたの教育研究発表会」を開催します

区立小・中学校の教育研究推進校の研究成果を発表する「おおたの教育研究発表会」を、平成23年2月14日(月)に池上会館で開催します。

今回で2回目となる「おおたの教育研究発表会」では、大田区教育委員会教育研究推進校として2年次の小・中学校が研究の成果を発表します。今年は9校の教職員による研究の概要、具体的な実践事例の報告と、学校、保護者、地域の参加者との意見交換を行い、区全体の教育力の向上を図ります。

「おおた教育振興プラン」に掲げた区の教育方針を基にして研究主題を定め、児童・生徒一人一人の学力の定着、思考力・判断力・表現力の育成、体力の向上、国際理解と小学校外国語活動の充実など、現代の教育課題の解決に向けて教育研究推進校が授業改善の実践を積み重ねてきた成果を発表します。

- 1 日時 平成23年2月14日(月)午後2時開会
- 2 場所 池上会館2階集会室(池上1-32-8)
- 3 研究発表校 大森第一小学校、入新井第一小学校、馬込小学校、池上第二小学校、東調布第三小学校、雪谷小学校、赤松小学校、道塚小学校、田園調布中学校

☎ 問合せ先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



田園調布中学校の研究授業の様子



池上第二小学校の研究授業の様子

学習指導要領全面実施に向けて

4月から、いよいよ小学校で新学習指導要領が全面実施となり、新しい教科書を使用した授業がスタートします。

これまでの学習指導要領では、知・徳・体のバランスのとれた力である「生きる力」をはぐくむことを目指してきました。これからも「生きる力」をはぐくむという理念はかわることなく、より一層充実させることを目指し、学校教育法第30条第2項に示された以下の学力の3つの要素を育成します。

- 基礎的な知識・技能の習得
- 知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力の育成
- 主体的に学習に取り組む態度

具体的には、小学校では次のようになります。

- 国語・社会・算数・理科・体育の授業時数が6年間で約1割増加します。算数、理科では、観察・実験や反復学習などを充実します。
- 全ての教科等で、記録、説明、批評、論述、討論などの言語を使った活動を行い、言語の力をはぐくみます。
- 5・6年生で、英語を中心とした「外国語活動」を年間35時間以上実施します。
- 日本の伝統や文化に関する教育を充実します。
- 環境教育、家族と家庭に関する教育、食育、消費者教育、情報教育、特別支援教育などの新しい時代に対応した教育を充実します。
- 規範意識や他人を思いやる心をはぐくむ教育を充実します。
- 体力・運動能力の向上など、健やかな体を育てる教育を充実します。

道徳や特別活動、総合的な学習の時間については、小学校・中学校ともに昨年度から新学習指導要領による授業がスタートしています。

なお、中学校の新学習指導要領の全面実施は、平成24年度からとなります。

☎ 問合せ先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

学習指導要領とは

- 全国どこでもこの学校で教育を受けても一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めているもので、教科書や学校での指導内容のもととなるものです。

学校支援地域本部について

教育委員会では、学校の教育活動を一層充実させるため、地域全体で学校を支援する仕組みとして学校支援地域本部(仮称スクールサポートおおた)の設置を進めています。

地域の人材を学校につなげ、学校教育の活性化を図り、子どもの学力向上や健やかな成長の支援を目的としています。また、これらの取組みは、区民の知識や経験を生かすことになり、地域の活性化にもつながります。

学校支援地域本部には学校支援コーディネーターを置き、ボランティアとの連絡調整などを行います。コーディネーターは学校の要望に基づき、ボランティアと協力して補習教室、図書室の整理、土・日曜日のワークショップ等、

様々な活動を実施します。開始当初は既存の取り組みを中心に活動し、徐々に新たな支援活動を実施することが良い結果につながると考えています。

学校支援地域本部事業は、おおた教育振興プランに沿って、平成25年度までに区立小・中学校全校への設置を目指しています。

現在は小・中学校あわせてモデル校10校で実施中ですが、各モデル校では、新たな学校支援活動が実施されたり、既存の取り組みの充実が図られるなど本部設置の成果が報告されています。今後は、準備が整った学校から順次設置をしていく予定です。

☎ 問合せ先 教育地域力推進担当 TEL 5744-1443 FAX 5744-1539

みその学校サポート本部

みその学校サポートは、御園中学校の教育活動を地域で支え、より一層活発な教育活動が進むように①家庭学習支援、②体験学習支援、③子どもの光発見の3つの柱のもと、地域ぐるみで支援することで活動しています。

このうち、家庭学習支援では、土曜学習室として1年・2年・3年基礎・3年応用の4クラスを年9回開校しています。

教育プログラムは地域学習塾の協力を得て、講師は大学生・院生など若い方々が熱意をもって、生徒達の勉強が進むように努力しています。



大森第六中学校支援地域本部

地域の学びから 世界の学びへ ~世界に羽ばたく大森六中を目指して~

学校経営に2つの新しい考え方が定着しつつあります。課題解決能力の育成(ユネスコスクール)と学校支援地域本部の活動です。ユネスコスクールの概念は学校のみならず地域における環境、エネルギー、文化継承等を含んでいます。学校から依頼を受けて地域本部では10月25日洗足池風致協会事務長の守屋伸宏氏を朝礼講話講師としてお迎えしました。生徒会として取り組んでいる洗足池清掃や科学部で推進しているホテル・プロジェクトに関するお話を生徒一同熱心に聴講し、「世の中で一番幸福な人は自ら美しい街をつくり、そしてその中で美しく暮らす人達である。」というメッセージをしっかりと心に刻みました。次は地域の学びを糧として世界に羽ばたく生徒を励ます講演会の企画を進めています。



「一校一取組」「一学級一実践」の実施

子どもの体力向上を目指して

区教育委員会は、児童・生徒の体力・運動能力の向上を目的として、平成23年度から小・中学校全校で、各校の特色を生かした「一校一取組」運動を開始します。小学校では、併せて「一学級一実践」運動にも取り組んでいきます。

小学校が実施する「一学級一実践」運動は、一部の学校では今年度から開始しています。平成23年度からは、すべての小学校の学級担任教諭が、体育授業の中で工夫を凝らした運動を実施します。

学校では、運動遊び、授業前の軽体操、休み時間等の効果的な活用、体育授業や放課後等の部活動の充実、運動会・体育祭やマラソン大会等に加え、各学校、学級ごとに工夫を凝らした特色ある取り組みを展開します。

家庭でも、児童・生徒の体力・運動能力を向上していくために、基本的な生活習慣、運動習慣の確立に向けたご協力をお願いします。

「一校一取組」・「一学級一実践」運動とは

「一校一取組」・「一学級一実践」運動は、東京都教育委員会が策定した総合的な子供の基礎体力向上方策第1次推進計画「子供の体力向上東京大作戦」で取り上げられた、学校における指導の改善・充実のための取り組みです。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



北糀谷小学校の休み時間の様子

羽田中学校の新校舎しゅん工!

平成22年8月に羽田中学校新校舎が完成し、9月から新校舎での授業がスタートしました。

新校舎には、「環境型エコスクール」として環境に配慮した様々な工夫を採り入れており、環境への負荷の軽減を図っています。

主な設備は以下のとおりです。

- 太陽光発電の実施（1月末完成予定） 体育館上部の屋上に最大50kwの発電ができる装置を設置します。発電した電気は、学校で使用するほか、余剰電力が発生した場合は売電します。また、環境教育の一環として1階に発電状態がわかる発電モニターを設置します。
- 屋上・壁面緑化 屋上に芝生と植栽によるガーデン風な緑化を行うとともに、壁面には蔦性植物等による緑化用の設備を設置しました。
- トイレ洗浄水の雨水利用 雨水を貯留できる設備を設置し、トイレの洗浄水に活用します。
- 自然採光の活用 5階廊下に天窗を配し、自然採光の活用を図っています。

このほか、武道場やコミュニケーションをはかるオープンスペース、ランチルームを整備しました。今後も、区教育委員会では、子ども



たちが安心して学べる学校施設づくりに取り組んでいきます。

問合先 教育総務課施設担当

TEL 5744-1399

FAX 5744-1666

『大田区の遺跡』

大田区が位置する場所には、丘陵・谷戸・台地・低地・河川・海浜と様々な環境があります。そして、区内には人びとがこのような環境を利用し生活した痕跡として、先土器(旧石器)時代から江戸時代に至るまで約230の遺跡があります。市街地化が進む現代の大田区は、まさに遺跡の宝庫といっても過言ではありません。

古くは久原小学校内遺跡などの調査により、約3万年前から人びとがこの地で生活していたことがわかっています。

縄文時代には下沼部貝塚、雪ヶ谷貝塚、馬込貝塚など貝塚の



雪ヶ谷貝塚出土の貝層

遺跡が多いことが注目されます。

弥生時代には東日本を代表する有名な久ヶ原遺跡をはじめ山王遺跡、都立田園調布高等学校内遺跡など区内の主だった台地に集落の跡が認められます。

また、古墳時代には宝萊山古墳・亀甲山古墳・浅間神社古墳など多摩川下流域に古墳が築かれました。この地域において古墳時代を通じて約400年間、古墳が造られ続けたことは、他の地域にはみられない多摩川下流域の古墳群の特徴といえます。

古墳時代以降は、台地だけでなく低地へと人びとの開発が進み、あやめ橋付近遺跡、糀田神社遺跡、女塚貝塚、十二天遺跡、八幡塚行方氏館跡などの遺跡が残されています。



久ヶ原遺跡出土の土器



亀甲山古墳

す。しかし、調査事例がまだ少ないことから区内における古代や中世の実態を解明していくには、今後の低地での発掘調査が課題となります。

さて、今回、名前を挙げた遺跡はほんの一部であり、これまでに行われた区内の発掘調査の成果については、郷土博物館の常設展示でご覧いただくことができますので、ぜひご来館ください。



浅間神社古墳出土の埴輪(左:鹿、右:馬)

問合先 郷土博物館 TEL 3777-1070 FAX 3777-1283

文化財入門講座

「山王遺跡を学ぼう!」(全3回)

- 第1回 2月6日(日)「山王遺跡の発見とこれまでの調査」
- 第2回 2月13日(日)「縄文時代から弥生時代の山王遺跡」
- 第3回 2月20日(日)「弥生時代から古墳時代の山王遺跡」

時間 いずれも午後2時から4時まで

対象 小学校高学年以上

会場 郷土博物館(南馬込5-11-13)

定員 各回30名(各回、1回のみ参加も可能)

申込み 郷土博物館文化財担当へ電話(1月11日午前8時半から受付) 電話3777-1281

内容 山王遺跡のこれまでの調査成果の解説を聞き、毎回、遺跡から出土した土器や石器とふれあいながら、楽しく学びます。

平成22年度 第2回中学生「東京駅伝」大会が開催されます。

都内の中学2年生を対象に、第2回中学生「東京駅伝」が開催されます。
 中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力の向上を目的として実施する区市町村対抗の駅伝競走です。男子の部では42.195kmを17人が、女子の部では30kmを16人が、一本の襷をつないでいきます。
 昨年度は、男子の部4位、女子の部8位、総合5位と好成績を収めています。
 大田区の代表として各学校から選抜された選手たちに盛大な応援を送りましょう。



日 時 平成23年3月21日(祝)
 <開会式> 午前9時30分
 <女子の部> 午前10時スタート
 <男子の部> 午後1時スタート
 会 場 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コース
 (最寄り駅:京王線 飛田給駅)



問合せ先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

大田区立 生徒 職場 体験 中学校

区立中学校では、生徒が、将来、社会人・職業人として自立できるように育成するため、地域の商店や事業所のご協力をいただき、地域ぐるみで職場体験学習を実施しています。

対象は中学2年生で、多くの事業所で貴重な職場体験を積んでいます。職場体験は、生徒だけでなく事業所、学校、家庭においても、仕事や学校、地域に対する理解を深めるきっかけとなっています。

【職場体験の主な目的】

- ①生徒の社会性や勤労観・職業観の育成を図る
 - ②生徒の地域社会の一員としての自覚をもつ機会とする
 - ③地域全体での生徒の健全育成を推進する
- ・実施期間は連続した3～5日間で、学校ごとに設定しています。

【平成21年度 職場体験事業所数】

体験生徒数	3,791人	体験事業所数	1,321箇所
○小売・販売	30%	○サービス業	12%
○教育・医療・福祉	28%	○公的機関等	8%
○飲食店	10%	○その他12%(うち製造業6%)	

※体験生徒数は、事業所(複数の場合を含む)で体験した生徒の延べ人数。

【職場体験の成果】



事業所：生徒や学校への理解を深め、地域コミュニティの活性化に寄与しました。
 生徒：仕事に対する理解を深め、自己の可能性を再発見することができました。
 教師：生徒の新たな面を再発見し、地域とともに歩む学校について再認識することができました。
 保護者：職場体験をきっかけに、家庭での親子の触れ合いの時間が増えました。

問合せ先 指導課指導主事
 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

大森第一中学校 職場体験の様子

ものづくり教育・学習フォーラムを開催します

今回で第9回目を迎える「ものづくり教育・学習フォーラム」は、作品展示、ものづくり競技会などの学習発表とその場でものづくり体験ができる、小学校から大学までかかわる一大イベントです。

学習発表は、区内小・中学校によるものづくり体験や職場体験をステージで発表します。各学校で作成した技術家庭科の作品の展示発表、区内中学校代表生徒による技術・家庭科の技能コンテストもあります。

ものづくり体験では、区内の協力団体・企業等が体験ブースを開きます。万華鏡やポンポン蒸気船など作って遊べるもの、下駄作りやCDラックなど作って使えるものなど、その場で参加できる楽しい体験が盛りだくさんです。

「ものづくり教育・学習フォーラム」を通して、
 ①小・中学生の発表や展示を通し、ものづくりの体験や学習を広く伝え、ものづくりへの関心を高めます。

②ものづくり指導者等による、ものづくりの楽しさが実感できる体験ができます。

③大田区における、ものづくり企業等の職場体験の発表を通し、ものづくりに関心を持つ人材育成を図ります。

これからも、未来の大田のものづくり、日本のものづくりを支える意欲と創造性を培い、はぐくむ「ものづくり教育・学習フォーラム」にしていきたいと思います。

開催日時 平成23年1月15日(土) 9:00~16:00 (9:20~開会式)
 会 場 大田区産業プラザ(南蒲田1-20-20)

問合せ先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



表彰

□文化部門

- ・平成22年度明るい選挙ポスターコンクール<東京都優秀賞>
池上第二小学校3年 奈良百合香 <東京都奨励賞>
羽田小学校6年 山邊紗耶
大森第二中学校1年 鷺崎千奈津 鈴木美亜
- 大森第八中学校3年 川出夕織
- 馬込中学校3年 本田ひと美
- 2年 陣 由莉 山内 愛
- 雪谷中学校3年 大島美香
- 2年 萩原南美 長崎詠美奈
- 矢口中学校1年 小池 陽 山崎明花
- 蒲田中学校3年 中村安奈

教育委員会委員の紹介

高山美智子委員が退任され、平成22年10月14日付けで新しく鈴木清子委員が就任されました。



教育委員会の主な議題

- 平成22年第9回定例会
・平成21年度行政評価(事務事業)結果報告について
- 平成22年第10回定例会
・学校事故に係る損害賠償額の専決処分の

報告について

- 平成22年第3回臨時会
・大田区立大田図書館の指定管理者の選定について

教育委員会定例会の開催予定日

- 日時 平成23年1月19日(水)
平成23年2月16日(水)
平成23年3月28日(月)

□時間 午後2時から

□場所 本庁舎6階 教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合せ先 教育総務課庶務係
 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535